

読解基礎トレーニングシート

特 徴

文章読解の基本を習得するために、文章を読むことになれるところからはじめ、読解力の基本を無理なく学習することを目的としたテキストです。読むことが苦手な生徒に配慮し、身近な出来事や興味をひく話題などを素材文としています。文章を読むことができたかを確認するレベルの設問と、読解力の向上に効果の高い『文章の書き写し』の作業を行うことを基本構成としています。

従来の国語の読解指導にはこだわらず、社会や理数系に関連した素材文と設問も用意し、各教科の学習の基本が国語の読解力であることを意識したテキストです。

また、関連する幅広い知識の習得ができ、読むことの楽しさが実感できるように配慮しました。さらに、今後必要とされる読解力を基本とした応用力や表現力、知識を深める多様な学びを意識した問題も用意しています。

使い方

本文と補足文を読んでその内容が読みとれているかの問題をとぎ、合わせて関連する知識を身に付けます。とりかかりやすい文章と設問、関連知識を楽しく身に付ける構成となっているので、国語の授業の導入や家庭学習用の読解練習教材として使用ができます。

また、知っている知識、自分の考えや意見の発表、色々な情報との組み合わせで、より深い学習が行えます。

V O L . 2 / 目 次

①ネコが顔を洗う	2	⑪夏休み 犬の散歩	22
②タコのラビオ	4	⑫都道府県⑦	24
③アメンボ	6	⑬活躍する犬たち	26
④都道府県⑤	8	⑭エリーゼのために	28
⑤ツバメが低く飛ぶ	10	⑮算数の問題①	30
⑥サッカーワールドカップ	12	⑯古文にふれる③竹取物語	32
⑦3 R	14	⑰都道府県⑧	34
⑧都道府県⑥	16	⑱平成から令和へ	36
⑨伝令	18	⑲音の速さ	38
⑩クビアカツヤカミキリ	20	⑳古文にふれる④枕草子	40
		解答	42
		書きこみノート	45

読解基礎トレーニングシート① / ネコが顔を洗う 天気予報①

1. 次の文を読んで、以下の問いに答えましょう。

天気予報^{よほう}は、今では当たり前のようにテレビなどで知ることができます。しかし、昔の人は天気予報がないのに、明日の天気^{あす}を予測^{よそく}していました。いったいなぜ天気がわかったのでしょうか。

昔からの言い伝えとしてよく知られているものに、「ネコが顔を洗うと雨」というものがあります。ネコは前足で顔をなでて、その前足をなめ、また顔をなでてはなめるのをくり返します。これを「ネコが顔を洗う」と言います。ネコのひげは風向きなどの色々な情報を感じとるセンサー^{やくわり}のような役割^{しごと}があります。空気中の湿度^{しつど}が高くなり雨が近づくと、ネコのひげは湿気^{しっけ}で重くなって下がります。ネコはそれが気になって、顔やひげを手入れするので、ひんぱんに顔を洗うときは雨がふるといわれているのです。

(1) ネコのヒゲにはどんな役割がありますか。

風向きなどの色々な情報を感じとる（ ）のような役割

(2) 雨が近づくとネコのヒゲは湿気でどのようになりますか。

()



メモ

ネコのヒゲはせまいところへ入るときの幅^{はば}をはかたり、風の向きを感じたり、物に当たったりするのをさげるときにとっても大事な役割^{やくわり}があります。風がどのようにふいているのかを知^しることは、獲物^{えもの}をつかまえる時にとっても大切になります。獲物の風上^{かぜの上}にいと、風につて自分のにおいが獲物にとどいてしまい逃げられてしまいます。いたずらでネコのヒゲを切^きってはいけません。

読解基礎トレーニングシート⑦ / 3 R

1. 次の文を読んで、以下の問いに答えましょう。

みなさんは、3 R（スリーアール）という言葉を知っていますか。リデュース（REDUCE）・リユース（REUSE）・リサイクル（RECYCLE）の頭文字をとったものです。リサイクルはよく聞くことがあるでしょう。では、リデュースとリユースは何を指すのでしょうか。

リデュースとはごみの量を減らすことです。むだなものを買わない、長く大事に使う、いらぬものは断るなどで家に持ち込む物の量を減らして、ごみの量も減らそうということです。

リユースとはものをくり返し使うことです。ジュースや牛乳のびんはあらってくり返し使われています。小さくなった洋服をお下がりにしたりゆずったりするのもいいですね。

- (1) リデュースとリユースをそれぞれ簡単に説明した（ ）にあてはまることばを書きましょう。

リデュースとはごみの量を（ ）こと。

リユースとはものを（ ）こと。

- (2) リデュース（REDUCE）・リユース（REUSE）・リサイクル（RECYCLE）をそれぞれアルファベットで書いてみましょう。

リデュース（R ）

リユース（R ）

リサイクル（R ）

メモ

お店がサービスでつけてくれるレジぶくろ、わりばし、プラスチックスプーンなどを断るのはリデュースです。つめかえの商品を買い、容器を何度も使うのはリユースにあたります。リサイクルとはいらなくなったものを資源として再利用することです。新聞や雑誌からトイレットペーパーを作ったり、ペットボトルから洋服を作ったりします。また、空きカン回収してアルミニウムや鉄の材料にします。



読解基礎トレーニングシート⑩ / 古文にふれる③ 『竹取物語』

たけとりものがたり

1. 竹取物語の説明とあらすじを読んで、問いに答えましょう。

『^{たけとりものがたり}竹取物語』は、平安時代のはじめごろに書かれた物語で、「竹取のおきな^{おきな}の物語」や「かぐや^{ひめ}姫の物語」ともよばれています。作者は不明で、ひらがなで書かれた物語としては、日本最古の物語だといわれています。

現代でも、「かぐや姫」として、絵本やアニメなどを通じて多くの人に親しまれている物語です。

(1) 『竹取物語』はいつごろ書かれた物語ですか。

() 時代のはじめごろ

(2) 『竹取物語』について () にあてはまることばを書きましょう。

作者は不明で、() で書かれた物語としては、() の物語だといわれている。

〈あらすじ〉

昔、竹取のおきなというおじいさんがいました。ある日、竹をとるため竹やぶにいとみると、竹の中にとっても小さな女の子を見つけました。かぐや姫と名づけられ、おじいさんとおばあさんに大切に育てられ、美しく成長しました。

かぐや姫の美しさを聞いて、五人の^{きぞく}貴族が^{けっこん}結婚を申し込みますが、とてもめずらしいものを持ってきた人と結婚するという条件をだれも果たせず、全員失敗してしまいます。

やがて、三年の月日がたったころ、かぐや姫は、月を見てはなみだぐむようになりました。自分は月の^{みやこ}都の人なので、次の八月十五日の満月の夜、月に帰らなければならないと言います。

おじいさんや^{みかど}帝は、かぐや姫を帰らせまいとしましたが、月からのむかえが来ると、かぐや姫は月へ帰って行ってしまいました。

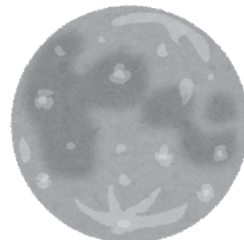
(3) ^{けっこん}結婚を申し込んだ^{きぞく}貴族たちは、なぜ全員結婚することができなかつたのでしょうか。

() にあてはまることばを書きましょう。

() を持って

きた人と^{けっこん}結婚するとかぐや^{ひめ}姫の条件をだれも

() から。



メモ

2. 原文と現代語訳をよんで、問いに答えましょう。

〈原文〉

今は昔、竹取のおきなといふ者ありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきのみやつことなむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一すぢありける。あやしがりて、よりに見るに、つつの中光りたり。それを見れば、三寸さんすんばかりなる人、いとうつくしうてゐ（い）たり。

おきないふやう、「われ朝ごと夕ごとに見る竹の中におはするにて知りぬ。子になりたまふべき人なめり。」

〈現代語訳〉

今となつては昔のことですが、竹取のおきなという者がいました。野や山に入って竹を取つては、いろいろな物を作る材料としていました。竹取のおきなの名前は、さぬきのみやつこといいました。ある日竹を取っていると、その中に根元が光る一本の竹を見つけました。不思議に思つて近寄ってみると、竹の中が光っているではありませんか。竹の中をみると、三寸さんすん（およそ9cm）ぐらいの人がとてもかわいらしい様子ですわっていました。おきなが言うことに「わたしが朝と夕に見る竹の中にいらっしゃつたので分かりました。わたしの子どもになるはずの人のようです。」

(1) この文の中で、竹取のおきはどこで竹をとっていましたか。

()

(2) 竹取のおきは何という名前でしたか。

()

(3) 原文の初めから〈なむいひける。〉までを書き写し、声に出して読んでみましょう。

<関連学習：全体を通して物語を読んでみよう>

かぐや姫と結婚けっこんしたい、とやってきた五人の貴族きそくたちに出された条件とはどのようなものでしたか。またそれを聞いた貴族たちはどうしました（どうなりました）か。

かぐや姫は一体何のために月からやってきたと思いますか、意見を発表しましょう。

メモ

読解基礎トレーニングシート⑱ / 音の速さ

1. 次の文を読んで、以下の問いに答えましょう。

音の伝わる速さは秒速 340 m です。これは 1 秒間に 340 m 進む速さということです。時速になおすと $340 \text{ m} \times 60 \text{ 秒} \times 60 \text{ 分} = 1224000 \text{ m} = 1224 \text{ km}$ という事になります。日本列島の本州の長さが直線（最短距離）で約 1200 km なので、音の速さで進めば、青森県から山口県まで 1 時間かからずに行けるとい事になります。この音の速さ（音速）をマッハといいます。マッハ 1 が時速 1224 km となります。旅客機が上空にあがり水平に飛行している時の速度は、およそマッハ 0.8 で、時速にすると $(1224 \text{ km} \div 0.8) = 979 \text{ km}$ で飛んでいます。コンコルドという旅客機は超音速旅客機とよばれ、マッハ 2（時速 2448 km）で飛ぶことが出来ました。戦闘機になるとマッハ 1.5 ~ 3 くらいで飛ぶことが出来ます。

(1) マッハ 1 の時の時速は何 km でしょうか。

時速 () km

(2) マッハ 3 の時の時速を求めましょう。

式 ($\times 3$) = 答え時速 () km



メモ

音は空気などのしん動によって伝わりますので、空気の温度や湿度、風などによって変わります。マッハの基準を時速 1245 km とする場合もあります。コンコルドはイギリスとフランスが開発した旅客機です。大西洋を 3 時間半で横断することが出来ました。(通常の旅客機では 5 時間程度かかります。)今は飛んでいません。

1. 次の文を読んで、以下の問いに答えましょう。

ロケットは、秒速およそ8～12 km（時速28,800 km～43,200 km）で宇宙へ向かいます。地球の重力に負けず完全な宇宙空間に行くためには、秒速11.2 km（時速40,320 km）の速さが必要といわれています。ロケットや飛行機がスピードを上げ音速を超えて超音速に入ると空気のしん動が大きくなり衝撃波と大きな音が発生します。これをソニックブームといいます。地上で飛行機が飛んでいる音が聞こえ、その方向を見上げててもその飛行機が見つからないことがよくあります。地上に音がとどく間に、その飛行機はるか遠くにはなれていってしまっているからです。

(1) 地球の重力に負けず宇宙空間に行くためには、どのくらいの速さが必要ですか。

秒速 () km

(2) 飛行機などが超音速に入った時に発生する衝撃波と大きな音をなんといいますか。

()

(3) この文の〈地上で飛行機が飛んで〉から〈いってしまっているからです。〉までを書き写しましょう。書きはじめは1マスあけ、や。「」は1マス使い、数字は1マス使います。ただし、や。「」が行の一番上のマスになるときは、前の行の最後のマスに文字と一っしょに入れて書きましょう。

20×10

メモ

オゾン層がある成層圏は高度およそ50 km、オーロラは高度約85～700 kmの地点で発生します。宇宙空間までの距離をNASAでは高度100 km以上の外側としています。時速100 kmで1時間で行ける距離です。意外と近いですね。

<関連学習>

自分の家にいるとき、外から打ち上げ花火の音が聞こえました。家の外に出てみると大きな打ち上げ花火が見えました。花火が見えた後から3秒後に花火の音がきこえました。花火会場は自分の家から何m先になりますか。

花火の音は3秒後に聞こえました。音の速さは秒速340 mとして計算しましょう。距離をもとめる式（速さ×時間）を使います。

Vol. 2 解答

①ネコが顔を洗う

- (1)センサー (2)重くなって下がる (湿気で重くなって下がる・下がる)
- (1)ブラシ (2)清潔・体温 (3)省略

<関連学習>

ネコは野生のヤマネコが家畜化されたものです。人間とくらすようになったのは5000年前の古代エジプトとされていましたが、9500年前の地中海キプロス島の遺跡からネコの骨とみられるものが発見されました。

人間が農耕を行うようになってから穀物の倉庫にいるネズミなどをつかまえる番人として、人のくらしに役立つ存在となりました。

②タコのラビオ

- (1)勝利(勝ち)・引き分け・敗戦(負け) (2)食用として出荷
- (1)ラビオジュニアの予想：勝利(勝ち) 試合結果：敗戦(負け) (2)2010 南アフリカ (3)省略

③アメンボ

- (1)60 (2)大村(湾)
- (1)ナガサキアメンボ (2)一つのことをつきつめる楽しさ (3)省略

※トンボは飛ぶ棒が変化したものといわれています。

④都道府県⑤

- (1)秋田県 (2)県庁所在地：秋田市
- (1)かみなりをとまなうあれた (2)とりすぎて数がすくなくなって (3)省略

<関連学習>

岩手県：吉浜のスネカ／宮城県：米川の水かぶり／秋田県：男鹿のナマハゲ／山形県：遊佐の小正月行事／石川県：能登のアマメハギ／佐賀県：見島のカセドリ／鹿児島県：甕島のトシドン・薩摩硫黄島のメンドン・悪石島のボゼ／沖縄県：宮古島のパーントゥ

⑤ツバメが低く飛ぶ

- (1)ちょう・ガ(蛾)・ハエ・カ(蚊) (2)羽・重く
- (1)かみなり・火事 (2)害虫を食べてくれる (3)省略

<関連学習> アンデルセンの童話「おやゆび姫」 オスカー・ワイルド「幸福な王子」など

⑥サッカーワールドカップ

- (1)ベルギー (2)とてもきれいにそうじされて・メモもそえられていた
- (1)観客席のそうじをしていた (2)自分が使ったところをきれいにする (3)省略

⑦3R

- (1)リデュース：減らす リユース：くり返し使う (2)省略
- (1)リデュース 理由：ごみを出さない (2)省略

⑧都道府県⑥

- (1)長野県 (2)県庁所在地：長野市
- (1)信州 みそ・そば (2)落書き (3)省略

<関連学習>

世界的にも有名な時計メーカーがあるスイスのように、長野県の諏訪地方は時計に代表される精密機械産業がさかんです。スイスと同じように美しい山々と湖などの豊かな自然があり、きれいな水とすんだ空気は精密機械産業に適している土地です。

⑨伝令

- (1)選手 (2)キャッチャーをベンチ前によんで
- (1)1996 (2)安全面を確保する (3)省略

<関連学習> テニス・バトミントン・卓球やカーリングにミックスダブルスがあります。

⑩クビアカツヤカミキリ

- (1)桜・もも (2)300
- (1)中国の貨物船 (2)はじめてみつかった県：愛知県 被害が確認されている県：埼玉県・東京都・群馬県・栃木県・大阪府・徳島県 (3)省略

⑪夏休み 犬の散歩

- (1)散歩を手伝おうか・ぼくもいっしょに行くよ (2)信号が変わったことを教えて・犬用の水
- (1)ほめてあげてほしい (2)家族 (3)省略

⑫都道府県⑦

- (1)岩手県 (2)県庁所在地：盛岡市
- (1)やませ (2)南部片富士 理由：富士山の片側が欠けているように見える (3)省略

<関連学習>

南からの夏の暖かい太平洋高気圧の勢力が弱い場合に、北のオホーツク高気圧から冷たい風がながれこんできます。暖房がきいている部屋の窓を開けると、外からの冷たい風が一気に流れ込んでくるのと同じで、冷たい空気は温かい空気の方へ向かって吹いてきます。

⑬活躍する犬たち

- (1)グレートピレニーズ・大型犬 (2)90・足がおとろえて歩くのも
- (1)盲導犬：950 / 目が不自由な人：30万 聴導犬：70 / 耳が不自由な人：35万
介助犬：70 / 身体が不自由な人：170万 (2)省略

⑭エリーゼのために

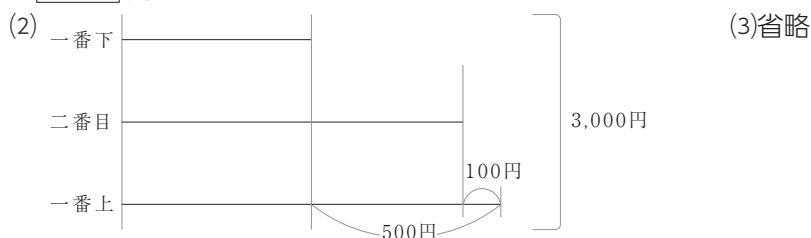
- (1)4月27日エリーゼの思い出のために、ベートーヴェン作 (2)交友関係を調べても・見あたらない
- (1)39・1810 (2)曲・プレゼント (3)省略

<関連学習>

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (Bach) は音楽の父といわれています。代表曲：主よ人の望みの喜びよ / トッカータとフーガ / ブランデンブルク協奏曲第5番 / G線上のアリア。もう一人は、ヨハネス・ブラームス (Brahms) 代表曲：ハンガリー舞曲 / クラリネットソナタ第1・2番。また『4つの厳粛な歌』のメロディーには日本の『こがねむし』の歌にそっくりなメロディーが登場します。

⑮算数の問題

- (1)パンのねだんはガムの値段より50円 **高** い
アメのねだんはパンのねだんより、**10** 円安い (2)省略
- (1)一番上の兄は一番下の弟より500円 **多く** お金を出します。二番目の弟は一番上の兄より **100** 円少ないお金を出します。



<関連学習>

一番上の兄が出すお金は(3,000円+300円+600円)÷3=1,300円となります。二番目の弟は1,300円-300円=1,000円、一番下の弟は1,300円-600円=700円

⑯古文にふれる③竹取物語

- (1)平安 (2)ひらがな・日本最古 (3)とてもめずらしいもの・果たせなかった
- (1)野山(野や山) (2)さぬきのみやつこ (3)省略

⑰都道府県⑧

- (1)新潟県 (2)県庁所在地：新潟市
- (1)かきの種 (2)川中島 (3)省略

⑱平成から令和へ

- (1)仕事がむずかしく (2)1989
- (1)色々な身分の人たち・4500・20・東北・九州・1200・日本最古の和歌集 (2)省略

<関連学習>

武士が台頭するきっかけとなった『保元の乱・平治の乱』／鎌倉時代の元寇『文永の役・弘安の役』／戦国時代へとむかう『応仁の乱』／豊臣秀吉による2度の朝鮮出兵『文禄の役・慶長の役』／江戸時代の3つの改革『享保の改革(徳川吉宗)・寛政の改革(松平定信)・天保の改革(水野忠邦)』など。(他にもあります)

後白河上皇(法皇)：平安時代の末期から院政をおこない、平氏と源氏が争う中で政治の実権をにぎる。

⑲音の速さ

- (1)1224 (2)式：1224(km)×3=答え：3672(km)
- (1)11.2 (2)ソニックブーム (3)省略

<関連学習>

340m×3秒(後)=1020m(1.02km)

⑳古文にふれる④枕草子

- (1)なかごろ 作者：清少納言 (2)出来事・思ったこと
- (1)風の音・虫の音 (2)省略

<関連学習>

冬はつとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭持て渡るも、いとつきづきし

昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も、白き灰がちになりてわろし。

〔現代語訳〕

冬は早朝(が良い)。

雪が降った朝は言うまでもなく、霜が降ってとても白いときも、またそうでなくてもとても寒いときに、火などを急いでおこして、炭を運んでいくのも、とても(冬の朝に)ふさわしい。

昼になって、寒さがだんだんとやわらいでいくと、火桶に入った炭火も、白い灰が多くなっていしまうのは(見た目が)よくない。